

報道関係者 各位

ノロウイルスによる食中毒の調査結果について

12月21日（月）に発生し、12月26日（土）と28日（月）に公表した(株)協栄給食の弁当を原因とするノロウイルス食中毒について、村山保健所で調査を継続していましたが、患者数が計559名となりましたのでお知らせします。

（当該日配弁当の配達先である事業所に聞き取りをしていましたが、年末年始休業により連絡が取れず、事業所の休業明けに調査が進んだことから、患者数が大幅に増加したものです。）

なお、県内のノロウイルス食中毒としては、平成21年の発生事案（393名）を超え過去最多の患者数となります。

1 調査状況（令和3年1月12日（火）時点 調査はほぼ終了）

	12月28日続報公表時	1月12日時点
摂食者数	313グループ 1,944名	317グループ 1,983名 (39名増)
うち幼児	14グループ 562名	14グループ 562名
患者数*	54グループ 239名 1歳～90代	164グループ 559名 (320名増) 1歳～90代
うち幼児	10グループ 77名 (1歳～6歳)	10グループ 78名 (1歳～6歳)
受診者数	105名	359名 (254名増)
うち幼児	22名	66名
患者住所	山形市、寒河江市、村山市、天童市、東根市、米沢市、鶴岡市、東村山地域、西村山地域、仙台市 等	

※患者はすでに回復しており、重症者はおりません。

2 (株)協栄給食の対応状況

(株)協栄給食は、12月28日までに施設の洗浄・消毒を実施するとともに、1月4日に調理従事者等の検便を実施した。

村山保健所の指導により、調理従事者のノロウイルス検査が陰性であること及び始業前の健康観察で腹痛や発熱など異常がないことを確認し、衛生管理を徹底した上で1月5日から営業を再開している。

3 県の対応等

- 12月28日付けで大量調理施設（121施設）に対し、衛生管理マニュアルの遵守とノロウイルス食中毒対策の徹底を図るよう通知を発出した。
- 村山保健所は、(株)協栄給食への衛生状況の確認を定期的に行うとともに、改めて講習会を実施し、HACCPに沿った衛生管理の徹底を指導する。
- 今後、県内の弁当製造を行う大量調理施設（19施設）に対し、各保健所で立入検査を行い、ノロウイルス食中毒の予防対策の徹底について指導を行う予定である。

【問い合わせ】

食品安全衛生課 課長補佐 大貫典子

電話 023-630-2567

[報道監]防災くらし安心部次長 林 新一